

カ タ リ ナ

学報

第47号



St. Catherine University

聖カタリナ大学 / 聖カタリナ大学短期大学部

2021. 12. 1



大学基準協会の評価を受けるために

学校法人聖カタリナ学園理事長 中田 婦美子



本学は、2015年4月から2022年3月までの7年間で大学基準協会の第三評価によって、適正であるという認証を受けた。この大学基準協会は、[Japan University Accreditation Association JUAA]といい、大学等有資格者としての基準に適合しているかどうかを認定する公的な第三者評価機関である。2002年の改正学校教育法に基づき、大学等には文部科学大臣の認証を受けた評価機関により7年以内の周期で評価を受けることが義務づけられている。この大学基準協会の査定を受けて、適合であると認定される(アクレディット)ことは、大学自体の資質の保証というだけでなく、社会における大学の評価という意味でも極めて重要なことであると認識している。

本学が大学基準協会から受けた評価内容について精査し、その改善に取り組んだ「点検・評価報告書」の内容と共に私見を加え、その要旨を記載することとしたい。

1. 理念・目的：本学の建学の精神は、カトリック教会において認可された大学として、そのキリスト教的世界観と教育理念に基づいて、「愛と真理」の精神で世界の平和と人類の共通善を促進する人間の育成を目的とする。学訓である「誠実」・「高邁」・「奉仕」の精神のもとに、社会に貢献できる人材の育成に務めている。大学の組織改編に際しては、常に教授会と理事会が検証を行い、適正に行われている。学園創立100周年を迎えるにあたり、時代の変化に対応した大学を創造し、本学の建学の精神・教育理念の普遍性に努めたい。
2. 内部質保証：本学は2020年に内部質保証を主導

する「大学評価委員会」を改正し、学外者による「第三者評価委員会」を設置し、点検・評価活動を活性化させた。その維持と向上のために、「大学グランドデザインと中・長期経営計画」の策定と履行を恒常的に進め、そのPDCAサイクルを可視化するため、全学レベルで「学部年間計画」を作成し、その達成状況を検証し改善に導く体制作りに努めている。また、学長が委員長を務める「将来計画委員会」、「人事委員会」、「財務委員会」、「FD委員会」において報告された事案について必要に応じて検討している。

3. 教育研究組織：本学の「将来計画委員会」において検討し、学部の研究目的の具現化と持続的発展のため、2017年度新たに設置された看護学科は、地域の保健・医療・福祉のニーズに応えるものとした。教育研究組織に関する点検・評価については「教学マネジメント委員会」及び各学科が行っている。「キリスト教研究所」と「人間文化研究所」及びボランティアセンターの活動は、キリスト教的世界観としての大学の理念・目的に整合し、より良い発展を願っているが、学術的視野の発展のため、学生の留学や教育・研究の情報交換が可能となるよう、海外の大学との更なる交流等に向けより一層の努力が望まれる。
4. 教育課程・学習成果：教育課程について、本学が有する4学科の特殊性に鑑み、それぞれの基準と要件に応じて改善を試みている。昨年看護学科は完成年度を迎え、全学の教育課程について、本学は3つのポリシーを策定し、全学的な基本方針として定めた。従来の1.「卒業認定・学位授与に関する方針」(ディプロマ・ポリシー)、2.「教

育規程の編成・実施方針」（カリキュラム・ポリシー）、そして、日本看護系大学協議会の要請による看護学科の新カリキュラム構築の基盤となる3. 「コア・コンピテンシーと卒業到達目標」を加えたこの3者の連関を基盤とし充実させていく必要がある。さらに本学では、定期的に教育課程や内容等について、学科会議、教務委員会、教学マネジメント委員会等において検証を行い、必要に応じ教育課程の見直しを行っている。

5. **学生の受け入れ**：学生募集について、大学基準協会の認証評価で改善勧告を受けているが、入学者受け入れ方針「アドミッション・ポリシー」の「求める学生像」をより明確にし、入学定員の妥当性、入学者数、社会情勢を踏まえた高校生の進路指導の研究等、学生募集及び入学者選抜については、入試募集委員会での適切性について検証している。入学者選抜制度は高大接続改革に沿い、学力については多面的・総合的に評価し、広報活動及び選抜制度についても今後検証を行っていく。
6. **教員・教員組織**：本学は、建学の精神に基づきキリスト教の人間観を視座に置いた教育理念による教育・研究活動に誠意を持って精励する教育者を求める教員像とする。教員の教育能力の向上、教育課程や授業方法の開発及び改善につながるために、学長を委員長とする「FD委員会」が中心となって組織的、多面的な取り組みを行っている。教員の研究成果の出版を援助しているが、科学研究補助金及び外部資金の受託、獲得については、各学科の一層の努力が望まれる。社会貢献等の諸活動については、学部の特性を生かし「地域連携推進室」を設置し関係ある諸機関・団体と連携協定を締結している。
7. **学生支援**：学生生活委員会において、新たに「学生支援に関する方針」を定め、次のように策定し、更なる充実を図った。1. 修学支援方針、2. 生活支援方針、3. 進路支援方針、4. 正課外活動支援方針、5. 学生支援の適切性の検証。この方針は、「教学マネジメント会議」において、教職員間で共有している。大学の施設設備に対する学生の要望を聞くために年に1回「学長と学生との懇談会」を開催している。この度のCOVID-19の対応・対策については、危機管理対策本部構成員会議において、北条・松山市駅の2キャンパスにおいて徹底した感染予防対策が行われている。
8. **教育研究等環境**：これまで本学では教育研究等の環境や条件の整備に関する方針に相当するものが定められていなかったため、「教学マネジメント委員会」において、大学設置基準に定められた方針に従い教育研究等環境の整備に関する方針を策定した。アクティブラーニングに対応した教室の整備、学内ネットワーク環境の整備、多目

的室内運動場の整備を行っている。「教育研究等の整備に関する方針」を策定し、学生の学習及び教員の教育研究環境の整備に努め、教員の研究倫理を遵守するために必要な規定を整備し、その促進を図っている。

9. **社会連携・社会貢献**：本学は地域連携推進室を中心にして、各学科の専門性を生かして、「地域連携」、「産学官民連携事業」、「ボランティア活動」、「生涯学習の機会提供」、「心身の健康支援」等の事業を通じて、地域社会に広く貢献してきた。近年では松山市SDGs推進協議会に加入し、地元の教育機関や産業界との連携を図りながら、具体的な取り組みを推進しているところである。また、大学が保有している教育設備を積極的に開放し、文化交流のためにも貢献している。その他、アフリカ・モザンビーク大学の学生との文化交流の実施に向けて取り組んでいる。
10. **管理運営・財務**：（管理運営）－大学管理運営の意思決定については、学長が「将来計画委員会」において、継続的な検討と経営の具体的な改革・改善等について検討している。大学運営に関する自己点検・評価については、大学評価委員会が全学的な活動評価を行っている。その特徴的な取り組みとして、学校法人の「中長期経営計画」に基づくPDCAサイクルとして、毎年「中長期経営計画実施管理表」にて報告を行っているが、大学内において組織的に検証を行う仕組みが不十分であるために今後の対応が望まれる。事務職員の資質向上のための「SD委員会」の設置は評価される。理事会と大学管理部署との関係は緊密に機能しており、職務分担は適正に機能している。（財務）－財務については、学長が委員長である「財務委員会」において、学生生徒の納付金の安定的確保、人件費と諸経費の抑制と効果的投資、外部資金の獲得等、確実な展望と資金運営のために尽力しているが、予算執行とそれに伴う決算に齟齬が見られるため、綿密な分析と実効性のある管理運営が求められる。法令上求められている監査法人及び学園監事による監査、学校法人本部による内部監査の三様監査を実施している。大学財政の実務的な改善をもって将来計画を策定し、法人本部との緊密な連携によって予算・決算について相互に情報共有し、計画、実行、検証、改善のプロセスに取り組み財政改善のために鋭意努力している。

以上、この度、本学の看護学科の大学院設置の正式認可を機に、本学がカトリック大学の建学の精神のもとに、時代の先を見て前進し、より一層の多様化・個性化・高度化に向けて取り組むために全教職員の協働をお願いしたい。

●2021年度聖カタリナ大学キリスト教研究所フォーラム

聖カタリナ大学キリスト教研究所では「キリスト教といのちの尊厳」をメインテーマに掲げ、フォーラムを開催いたします。なお、今年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため、本学関係者のみの参加とさせていただきます。

一般の方への公開講座にはなりません、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

- 第1回：令和3年10月27日(水) 16:30~18:00 第2回：令和3年11月24日(水) 17:10~18:40
 第3回：令和3年12月22日(水) 16:30~18:00 第4回：令和4年1月26日(水) 16:30~18:00
 第5回：令和4年2月25日(金) 16:30~18:45

●2021年度聖カタリナ大学人間文化研究所フォーラム

聖カタリナ大学人間文化研究所では、フォーラムを開催いたします。なお、今年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため、本学関係者のみの参加とさせていただきます。

一般の方への公開講座にはなりません、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

- 第1回：令和3年9月29日(水) 16:20~18:20 第2回：令和3年10月20日(水) 16:30~18:30
 第3回：令和3年11月17日(水) 16:30~18:30 第4回：令和3年12月20日(月) 13:00~15:00
 第5回：令和4年1月19日(水) 16:30~18:30 第6回：令和4年2月16日(水) 16:30~18:30

●本学留学生2名が「台北市との小中学校友好交流推進員」に任命

松山市教育委員会より、台湾人留学生の健康スポーツ学科4年生の葉沛青さんと人間社会学科4年生の許芝宇さんが「台北市との小中学校友好交流推進員」に任命され、委嘱式に参加しました。

前年度の友好交流推進員の温芷萱さんと葉梓寧さん(2021年3月卒業)の活動が好評であったことから、今年度も引き続き本学の学生が任命されました。



●あいテレビのテレビ番組「なぞマチ」で、アルベルト・カルペンティール宗教画ギャラリーが紹介

先日、あいテレビのテレビ番組「なぞマチ」の収録が北条キャンパス内のアルベルト・カルペンティール(1918~2020)宗教画ギャラリーで行われ、その様子が6月26日(土)17:24~放送されました。

番組では、飯田 万結 アナウンサー(あいテレビ)がインタビュアーとなり、宮武信枝 教授がギャラリーの展示作品(砥部焼・油絵・版画)を紹介しました。

動画をあいテレビサイトで公開中です。是非、ご視聴ください。



●(公財)松山市男女共同参画推進財団より「まどんな応援企業」として認証

7月1日(木)、(公財)松山市男女共同参画推進財団より男女共同参画推進のための協力を評価され、聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部が「まどんな応援企業」として認証されました。

【取組内容】

- ・女性の採用・登用や職域拡大のための取組
- ・職業生活と家庭生活等の両立を支援するための取組
- ・男女がともに働きやすい職場づくりのための取組

※2015年に国連サミットで採択された、SDGs(Sustainable Development Goals)、すなわち17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標」の取り組みを推進していくため、聖カタリナ大学と聖カタリナ大学短期大学部は『SDGs宣言』を行い、全学的な取り組みを進めています。



●令和3年度保育学科公開講座リカレントセミナーを開催しました

8月19日(木)、毎年恒例の保育学科公開講座「第21回リカレントセミナー」を開催しました。県内の幼稚園・保育所・施設で勤務されている延べ69名の先生方にご参加いただきました。

当日は、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ開催方法を工夫して実施いたしました。予定していた4講座のうち、「光と影で遊ぼう」「簡単な伴奏いろいろ」は資料の郵送を、「社会的養護を取り巻く現状と課題」「かんたん！感動!!のかがかくあそび10選」はZoomを使ったオンライン講義を行いました。

保育学科では、今後も社会で活躍されている方の学びたい気持ちを応援します。

●聖カタリナ大学大学院看護学研究科について文部科学大臣が設置認可

8月27日(金)、聖カタリナ大学の大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)が文部科学大臣から設置の認可を受けました。

今後、学生募集、入学試験を行い令和4年4月1日に開設します。

本大学院は、地域包括ケアの推進と構築を支えるための学術的基盤に基づく高度で知的な素養を養うとともに研究的視点を持ち、地域に浸透して自身の専門性を活かしたケアを構築しながら、保健医療福祉分野で指導者・管理者・教育者として貢献できる高度専門職業人を育てることを目的とします。また、本大学院は、松山市駅から徒歩1分に位置する聖カタリナ大学松山市駅キャンパスに開設されるとともに平日夜間および土曜昼間の開講など社会人の方が学びやすい環境を整えています。

【大学院看護学研究科看護学専攻の概要】

取得学位：修士(看護学)

入学定員：5名(男女共学)

修業年限：2年(最長4年)

開設時期：令和4年4月1日

設置場所：聖カタリナ大学松山市駅キャンパス内
〒790-0022 愛媛県松山市永代町10番地1



●聖カタリナ学園の創立100周年の広告掲出について

聖カタリナ学園は2025年に創立100周年を迎えます。

この度、創立100周年事業として坊っちゃん劇場(愛媛県東温市)のポスター「ジョンマイラブ-ジョン万次郎と鉄の7年-」に広告を掲出しました。ポスターは同劇場の入り口に掲示されています。

同作品は坊っちゃん劇場で令和3年9月2日から令和4年8月中旬まで上演されます。俳優陣に、同劇場で初めて愛媛県出身の高岡薫さんら「AKB48」のメンバーを起用。鉄役は、1年間、AKB48のメンバー(高橋彩香、濱咲友菜、横山結衣)が、交代で出演します。

なお、本学教員のロウ・リングダ教授が作品の英語考証で協力しています。

是非この機会にご鑑賞ください。



学校法人聖カタリナ学園は、2025年に創立100周年を迎えます。



学校法人
聖カタリナ学園

聖カタリナ大学
聖カタリナ大学短期大学部
聖カタリナ学園高等学校
京都聖カタリナ高等学校(京都)
光ヶ丘女子高等学校(愛知)
聖カタリナ大学短期大学部附属幼稚園
ロザリオ幼稚園
聖マリア幼稚園
聖家族幼稚園(京都)
聖カタリナ幼稚園(愛知)

◆◇ 令和3年度前期行事 (R3.4.1 ~ R3.9.30) ◇◆

月	日	曜	区	行 事	
4	1	木		評議員会・理事会、学生生活委員会、新任教職員研修	
			大	教授会、選考教授会、健康スポーツ学科会議	
	2	金		会計監査	
			大	看護学科会議	
	2	金	短	教授会、人事教授会、保育学科会議	
			短	教授会、人事教授会、保育学科会議	
	3	土		入学式、危機管理対策本部構成員会議	
	5	月		オリエンテーション (~4/6)	
	7	水	大	社会福祉学科会議	
	8	木		会計監査 (~4/9)、危機管理対策本部構成員会議	
	9	金		S D委員会	
	10	土	短	カタリナウェルカムキャンパス	
	13	火	大	学生生活委員会松山市駅キャンパス会議	
	14	水		キリスト教研究所所員会、入試・募集委員会	
			大	看護学科実習委員会、研究倫理委員会看護学科分会	
	19	月	大	教務委員会松山市駅キャンパス会議	
	20	火	短	大学評価委員会	
	21	水		障がい学生支援チーム会議、F D委員会	
			大	人事委員会	
	21	水	短	保育学科会議	
			短	保育学科会議	
	22	木		危機管理対策本部構成員会議	
	23	金		理事会	
	26	月		看護学科国試対策委員会	
	28	水		ボランティアセンター運営委員会	
			大	教務委員会、教職課程委員会	
	29	木		学園創立記念日	
	5	6	木		会計監査 (~5/7)
		7	金		教学マネジメント委員会
11		火	大	研究倫理委員会	
			短	教授会	
12		水	大	教授会、社会福祉学科会議、健康スポーツ学科会議、看護学科運営会議、研究倫理委員会看護学科分会	
			短	保育学科会議	
13		木		財務委員会	
14		金		地域連携推進室会議、募集広報ワーキング会議	
18		火	大	選考教授会	
19		水	大	看護学科会議	
			短	保育学科会議	
21		金		クラブ活動協議会	
25		火		危機管理対策本部構成員会議	
26		水	大	教務委員会松山市駅キャンパス会議、学生生活委員会松山市駅キャンパス会議	
27	木	大	研究倫理委員会		
29	土		評議員会・理事会		
31	月	大	研究倫理委員会		
6	2	水		人間文化研究所所員会議、国際交流委員会、就職委員会	
			大	看護学科実習委員会	
	短	教授会			
9	水	大	教授会、人間社会学科会議、健康スポーツ学科会議、社会福祉学科会議、看護学科卒業研究倫理審査会		

月	日	曜	区	行 事	
6	9	水	短	保育学科会議	
	13	日		オープンキャンパス	
	14	月		大学見学 (今治精華高校)	
	15	火		人事委員会	
	16	水	大	教務委員会、大学評価委員会	
	23	水	大	教務委員会松山市駅キャンパス会議、学生生活委員会松山市駅キャンパス会議	
			短	大学評価委員会	
	24	木		財務委員会	
	25	金	大	看護学科卒業研究倫理審査会	
	26	土		評議員会・理事会、オープンキャンパス	
	27	日		おでかけ大学説明会in南予	
	29	火		後援会奨励金授与式	
	30	水		学内F D研修会	
			大	教務委員会松山市駅キャンパス会議	
	7	2	金	短	保育学科会議
		4	日		オープンキャンパス
		6	火	大	人事委員会
7		水		広報委員会	
			大	社会福祉学科会議、健康スポーツ学科会議、看護学科実習委員会、教務委員会松山市駅キャンパス会議	
7		水	短	教授会	
			短	教授会	
9		金		危機管理対策本部構成員会議	
9		金	大	人事委員会	
			大	人事委員会	
13	火	大	研究倫理委員会		
14	水		教学マネジメント委員会		
		大	教授会、選考教授会、看護学科卒業研究倫理審査会		
14	水	短	保育学科会議		
		短	保育学科会議		
15	木		衛生委員会		
16	金	大	看護学科卒業研究倫理審査会		
17	土	大	オープンキャンパス		
21	水	大	社会福祉学科会議、教務委員会松山市駅キャンパス会議		
22	木		理事会		
27	火	短	中予私立幼稚園連盟合同説明会		
28	水	大	人間社会学科会議、学生生活委員会松山市駅キャンパス会議		
29	木		入試・募集委員会		
30	金		S D委員会		
		大	人事委員会、社会福祉学科会議		
8	2	月	大	研究倫理委員会	
	4	水		教務委員会	
			大	教授会、人事委員会、健康スポーツ学科会議、教務委員会松山市駅キャンパス会議	
	6	金		F D委員会	
	6	金	大	選考教授会	
			大	選考教授会	
	7	土		オープンキャンパス	
	8	日		聖ドミニコの日、オープンキャンパス	
11	水	大	看護学科卒業研究倫理審査会、研究倫理委員会看護学科分会		
		短	教授会		

月	日	曜	区	行 事
8	19	木	短	保育学科リカレントセミナー
	20	金	短	保育学科会議
	23	月	大	教務委員会松山市駅キャンパス会議
	25	水	短	奨学制度運営委員会
			大	学生生活委員会松山市駅キャンパス会議、看護学科実習委員会
31	火		理事会	
9	1	水	大	社会福祉学科会議
	8	水	大	教務委員会松山市駅キャンパス会議、研究倫理委員会看護学科分会
	9	木		奨学制度運営委員会

月	日	曜	区	行 事
9	14	火		地域連携推進室会議
	15	水	短	保育学科会議
			短	保健講話
	21	火		後学期履修ガイダンス
	22	水	短	前学期卒業証書授与式
			大	健康スポーツ学科会議、学生生活委員会松山市駅キャンパス会議
	25	土		評議員会・理事会
29	水	大	人間文化研究所フォーラム	
		大	教授会	

◆◆ 人 事 ◆◆

《令和3年7月12日付け》

【新規採用】

(松山市駅キャンパス)

看護学科事務部局

事務職員(非) 稲見 郁子

《令和3年7月26日付け》

【新規採用】

(北条キャンパス)

図書課

事務職員(非) 羽藤 花恋

《令和3年8月20日付け》

【新規採用】

(松山市駅キャンパス)

看護学科

実習助手(非) 緒方 智子

実習助手(非) 戸高 理恵

《令和3年9月6日付け》

【新規採用】

(松山市駅キャンパス)

看護学科

実習助手(非) 山口 幸恵

《令和3年9月30日付け》

【退職】

法人本部事務局

特別任用職員(非) 河本 佳香



大学
ドローン動画



大学
公式LINE



大学公式
Instagram



受験希望
の方



大学HP



保育学科
ブログ



ご寄付のお願い【教育振興募金のご案内】

聖カタリナ学園は、2025年に創立100周年を迎えます。

聖カタリナ学園では聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部の教育事業を永続的に発展させるため、また、教育環境の維持、充実を図るための支援として、皆様からの募金のご支援を受け付けております。

趣旨をご理解いただき、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【お問い合わせ・お申し込み先】

学校法人聖カタリナ学園 法人本部事務局 〒799-2496 愛媛県松山市北条660番地

TEL 089-993-1300 FAX 089-992-5616



◆◆ 令和3年度教授会議題（前期） ◆◆

【聖カタリナ大学教授会議題】

R3. 4. 1 第1回

1. 2022年度聖カタリナ大学入学試験概要（案）について
2. 退学について
3. 休学について
4. 除籍について
5. 科目等履修生の受け入れについて
6. 聖カタリナ大学研究倫理規程の一部改正について

R3. 5. 12 第2回

1. 退学について
2. 休学について
3. 復籍について
4. 教職課程委員会規程の一部改正について
5. 教職支援室運営内規の制定について

R3. 6. 9 第3回

1. 休学について
2. 聖カタリナ大学学則の一部改正について
3. 退学について

R3. 7. 14 第4回

※報告・連絡事項のみ

R3. 8. 4 第5回

1. 退学について
2. 前学期末卒業予定者の卒業の認定方法について
3. 科目等履修生の受け入れについて
4. 学則別表の改正について（社会福祉学科、人間社会学科、健康スポーツ学科）
5. 聖カタリナ大学大学院（看護学研究科看護学専攻）の入学試験要項【案】について

R3. 9. 29 第6回

1. 前学期末卒業の認定について
2. 退学について
3. 除籍について
4. 休学について
5. 復学について

【聖カタリナ大学短期大学部教授会議題】

R3. 4. 2 第1回

1. 2022年度聖カタリナ大学短期大学部入学試験概要（案）について

R3. 5. 11 第2回

1. 退学について
2. 聖カタリナ大学短期大学部学則の一部改正について

R3. 6. 2 第3回

※報告・連絡事項のみ

R3. 7. 7 第4回

※報告・連絡事項のみ

R3. 8. 11 第5回

1. 前学期末卒業予定者の卒業の認定方法について

◆◇ 令和3年度 クラブ等 活動状況 ◇◆

R3.10.1 現在

体育局(部)

団体名	期 間	大会名・イベント名等	開催場所	参加人数	成績・活動内容等
弓道部	8/11・12	第69回 全日本学生弓道選手権大会	日本ガイシンスポーツラザ 日本ガイシンホール	2	男子：個人決勝射詰進出 女子：個人決勝射詰進出
	8/13	第52回 全日本学生弓道遠の選手権大会	愛知県武道館	2	男子：個人出場 女子：個人優勝
硬式野球部	春季	令和3年度 四国地区大学野球連盟 春季リーグ戦（1部）	四国地方内	—	4位：6勝7敗
サッカー部	通年	2021 四国大学サッカーリーグ（1部）	四国地方内	—	1勝3敗1分（令和3年7月10日現在）
	通年	2021 インディペンデンスリーグ四国	四国地方内	—	0勝1敗2分（令和3年6月20日現在）
	7/3	2021 四国大学サッカートーナメント	生島メイン	26	出場
新体操部	9/13～16	第73回 全日本学生新体操選手権大会	草薙総合運動場体育館	1	個人総合 26位、フープ 44位、 ボール 30位、クラブ 24位、リボン 15位
男子バスケットボール部	8/7・8	2021年度 全四国大学バスケットボール 新人大大会	ツインドーム重信	10	出場
バドミントン部	8/16・17	第65回 中四国学生バドミントン選手権	鳥取産業体育館	1	男子：（シングルス 2回戦進出）
陸上競技部	5/14～16	第75回 中国四国学生陸上競技対校選手権大会	高知県立春野総合運動公園陸上競技場	6	男子：（三段跳 6位、100m、やり 投出場） 女子：（100m、400m出場）
	5/15・16	第76回 愛媛陸上競技選手権大会予選会 兼国体選考対象大会	愛媛県総合運動公園陸上競技場	2	男子：（200m出場） 女子：（400m出場）
	6/13	第1回 新居浜記録会	新居浜市東雲陸上競技場	2	男子：（400m出場） 女子：（400m 1位、100m出場）
	7/10・11	第76回 愛媛陸上競技選手権大会 兼国体選考対象大会	愛媛県総合運動公園陸上競技場	5	男子：（三段跳 8位、100m出場） 女子：（400m 5位（第69回四国 陸上競技選手権・第63回四国四 県対抗陸上競技大会の愛媛県代表 選手として選出）、棒高跳 5位、 100m 7位、200m出場）
	7/31・8/1	佐々木記念西条ひうち記録会	西条ひうち陸上競技場	5	男子：（100m、やり投出場） 女子：（100m 4位）
	9/25・26	えひめ国体開催記念秋季陸上競技大会	愛媛県総合運動公園陸上競技場	6	男子：（100m、200m、走幅跳出場） 女子：（棒高跳 4位、100m 8位）

体育局(同好会)

団体名	期 間	大会名・イベント名等	開催場所	参加人数	成績・活動内容等
水泳同好会	6/19・20	第56回 中国四国学生水泳選手権大会	鳥取県営東山水泳場	2	男子：（50m自由形 7位・16位、 100m平泳ぎ 9位、100mバタフ ライ 3位）
	7/3・4	第52回 中国四国学生選手権水泳競技大会 兼第51回 中国四国国公立大学選手権水泳 競技大会	くろしおアリーナ	3	男子：（50m自由形 29位・39位、 100m自由形 31位、100mバタフ ライ 11位） 女子：（100m平泳ぎ 7位、200m 平泳ぎ 6位）

◆◆ 研究室探訪 ◆◆

聖カタリナ大学 人間健康福祉学部 看護学科
講師 齋藤 希望

聖カタリナ大学の教員に着任して、2年半が過ぎました。学生生活は県外で過ごしましたが、就職を機に愛媛県に帰ってきて、市町村保健師を経験し、前任校を含めて大学教員として8年目を迎えます。

私の専門は地域看護学です。新生児～高齢者までの幅広い年齢と健康な人から終末期までの様々な健康レベルという幅広い対象に看護を提供する領域です。現在、日本では、健康な人から治療の必要な人まで、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の推進に向け、様々な施策が推進されています。看護学教育においても、保健師助産師看護師学校養成所指定規則の改正により、「地域・在宅看護学」が位置づけられるなど、地域生活を軸とした、医療・看護の重要性が謳われており、看護職は病院以外に様々な場で活躍しています。看護学科はその潮流を捉え、地域包括ケアを担う看護師・保健師の養成を行っており、看護学教育における地域看護学が果たす役割は大きく、少しでもその一翼を担うことができるよう、日々精進しています。

私は、地域の抱える健康課題を多角的に捉え、健康の保持・増進に必要な支援を見出し、地域住民と一体となって取り組むことができるように組み立てていくことに魅力を感じ、様々な研究を行っています。その中でも特に、「地域診断」という、地域住民の健康課題の同定方法に取り組んでいます。地域住民の健診データなどから現在の健康状態を読み取り、その健康状態につながる地域特性・生活習慣を地区踏査や住民のインタビューなどから見出し、課題解決に向けて、地域住民と一緒に取り組む方法を考えます。これまでには、地域診断の結果を踏まえ、PTAと協力して子どもが育てた野菜で保護者の野菜摂取量を増やすよう働きかけたり、職場の食堂をヘルシーメニューにしたり、Webを通じて生

活習慣をモニタリングして生活実態に即した保健指導を行ったりなど、身近な資源や手軽な取り組みから少しずつ広げていく取り組みをしてきました。今後は、GISを用いるなど、地理空間情報を生かして住民の日常生活行動をより正確に把握方法などにも取り組むとともに、その内容を教育する方法についても取り組みたいと考えています。

ゼミ生は、各自が興味のあるテーマを取り上げて、看護研究に取り組んでいます。コロナ禍により、研究実施にあたっての制限もありますが、その中で、学生は自分たちなりに研究テーマ、研究方法を計画し、研究結果をどうまとめるかについて奮闘しています。卒業した後も、看護師・保健師となる以上、今後の職務経験の課程で研究に取り組むことは明白なので、そのときに臆することなく取り組めるよう、研究結果だけに注視せず、研究方法をしっかり身につけられるように心がけて指導しています。今年からゼミを担当しているので、試行錯誤しながらの研究指導ですが、学部での看護研究を踏まえて、卒後も看護研究に取り組んでほしいと思います。

今後も、研究と教育を両輪として回しながら、大学教員として成長していきたいと思っています。



聖カタリナ大学・短期大学部学報
〒799-2496 愛媛県松山市北条660番地
TEL. 089-993-0702(代)
<https://www.catherine.ac.jp>
編集・発行
広報委員会
kouhou@catherine.ac.jp